

令和7年度 えりも岬保育所 自己点検・自己評価結果報告

保育所での保育は、「保育所保育指針」という厚生労働省が告示するものに基づいて行われます。その保育所保育指針の中に『保育所は、保育の質の向上を図るため、保育士等の自己評価結果を踏まえ、当該保育所の保育内容について自ら評価を行い、その結果を公表するよう努めなければならない』とあります。このことに従い、当保育所職員も自己評価に取り組みました。その結果を別紙のとおり公表いたします。

*評価するにあたっては、以下のような基準で行っています。

- ◎ …… 良くできている
- …… ほぼできている
- △ …… 努力を要する

えりも町立えりも岬保育所

所 長 越後 奈津美

項 目		評 価
【1】子どもの発達（保育士）		
1	子どもの発達の特性や発達過程を理解し、「発達の連続性」に配慮して保育をしているか	◎
2	子どもと生活や遊びを共にする中で、一人一人の子どもの心身の状態を把握しているか	◎
3	子どもの情緒を安定させ、人への信頼感を育てるために、一人一人の子どもを愛し信頼しているか	◎
4	子どもは様々な環境との相互関係により発達していくことを理解しているか	◎
5	子どもが興味や関心を示し、自発的に働きかけることができるように、身近な環境を整えているか	◎
6	子ども同士の関係が基礎となるように、あなたは一人一人の子どもと信頼関係を構築しているか	◎
7	仲間との関係の中で「個」の成長も促すことを意識して、遊びを展開させているか	◎
8	豊かな感情とともに好奇心、探究心や思考力が養われるよう保育を工夫しているか	◎
9	発達上課題のある子どもに対しても、子ども自身の力を十分に認め、適切な援助及び環境構成を行っているか	◎
<意見> ・一人一人の発達を理解し、個々に合わせた関わりをしている。友達との関わりの中で、個の成長を促すことを意識して、遊びを展開させている。子どもの興味、関心に合わせて環境構成を行うよう努めている。		

項 目		評 価
【2】保育の内容 1. ねらい一内容		
(1) 養護（生命の保持・情緒の安定）（保育士・所長）		
10	子どもの健康観察を行っているか	◎
11	子どもが触れたりする物や場所など、衛生的な環境を保てるように常に気を付けているか	◎
12	子どもとの温かなやり取りやスキンシップを常に心がけているか	◎
13	子ども一人一人にわかりやすい温かな言葉で、おだやかに話しかけているか	◎
14	子どもは不安になったときにいつでも支えられるよう、一人一人を視野に入れているか	◎
15	その時の状況に合わせて、一人一人の思いに寄り添った対応を心がけているか	◎
16	登所時、子どもの状況に応じて、抱いたり、やさしく声をかけたりしているか	◎
<意見> ・登所時に健康状態を把握したり、子どもが触れる場所やもの等の衛生的な環境づくりに配慮している。 ・状況に合わせて一人一人の思いに寄り添い、安心できる関わりを心掛けている。		

項 目		評 価
(2) 教育 ①健康（保育士）		
17	戸外で遊ぶ機会を取り入れているか	◎
18	友だちと一緒に体を動かすことを楽しめるように働きかけているか	◎
19	健康な生活のリズムを身に付けるよう、子どもの一日の生活の流れを考えながら保育しているか	◎
20	食事前や排泄の後の手洗いを励行するなど、清潔の習慣が身に付くよう援助しているか	◎
21	各年齢に合わせ、食事、排泄、着脱など、生活に必要な活動の仕方を身に付けるよう働きかけているか	◎
22	危険に気づいて行動できるよう、安全について伝えているか	◎
23	病気の予防に必要な活動をその場その時に適して、取り入れているか	◎
<意見> ・戸外遊びや散歩を多く取り入れ、体を動かす遊びを楽しむことができた。 ・排泄や食事などの生活習慣が身に付くよう一人一人の発達に合わせた関わりをしている。		

項 目		評 価
②人間関係（保育士）		
24	保育所生活の中で、自分でできたという充実感を味わえるような体験を取り入れているか	◎
25	友だちと一緒に喜んだり悲しんだりすることができる機会を作っているか	◎
26	つまずきや葛藤、けんかなどを、子どもたちの育ち（発達）に欠かせないものとして、対処しているか	◎
27	子ども同士が思ったことを相手に伝え、相手の思っていることにも気付けるよう援助しているか	◎
28	遊びの中で、達成感を味わえるような機会を設け、共感できているか	◎
29	良いことや悪いことに気づき、考えて行動することができるように配慮しているか	◎
30	困っている友だちのことを心配するなど、思いやりを持てるよう援助しているか	◎
31	順番を守るなどのきまりの大切さを各年齢に合わせて理解できるように、丁寧に説明しているか	◎
32	共同の遊具や用具を大切に使うことを働きかけているか	◎
33	当番活動や保育士の手伝いをするなど、人の役に立つ喜びを味わえるようにしているか	◎
34	周りの人や地域の人とあいさつを交わしたり、親しみを持てるよう心がけているか	◎
<意見> ・ 戸外遊びや散歩で地域の人と関わった時にあいさつを交わしたり、親しみが持てるよう心掛けていた。 ・ 人数が少ないことで、ものの貸し借りや順番を待つなどの経験が少ない面はあるが、子ども同士の関わりの中で思いを伝えられるよう仲立ちしたり、相手の思いに気付けるよう働きかけている。今後も友達同士の関わりが深まるよう関わっていく。		

項 目		評 価
③環境（保育士）		
35	身近な動植物に興味や関心を持つことができるよう配慮しているか	◎
36	身近な自然事象に触れ「どうして」「なぜ」といった疑問に対して、一緒に調べたり考えたりしているか	◎
37	身近な自然物を通して遊びを楽しめるよう配慮しているか	◎
38	あそびを通して、数量や図形などに関心を持つよう工夫しているか	◎
<意見> ・ 昆虫を飼育し触れ合う機会を作ったり、戸外遊びで見つけた花などに興味を持てるよう関わった。 ・ 遊びや制作の中で図形に気付いた時に共感したり、遊びが広がるよう工夫した。		

項 目		評 価
④言葉（保育士）		
39	あなたは、子どもの発達や理解力に合わせた言葉を使って保育をしているか	◎
40	あなたは、日々心のこもったあいさつを子どもと交わしているか	◎
41	子どもたちが安心して話せる雰囲気を作り、最後までゆったりと聞くよう努めているか	◎
42	人の話を聞くことの楽しさを体験するよう心がけているか	◎
43	子どもが人前で話すときは、相手に分かりやすく話せるように援助しているか	◎
44	紙芝居や絵本を通して、物語の楽しさや言葉のおもしろさに気付くよう心がけているか	◎
45	「ごめんなさい」「ありがとう」など、生活に必要な言葉を使えるように保育しているか	◎
<意見> ・ 子どもの発達や理解力に合わせた言葉を使って話すようにしている。自分の思いを伝えることが苦手な子に対し、安心して伝えられるよう見守ったり援助している。 ・ 「貸して」「いいよ」など友達とのやり取りに必要な言葉が使えるよう仲立ちしている。		

項 目		評 価
⑤表現（保育士）		
46	歌ったり、踊ったりして、音や動きの楽しさに気づき、楽しめるよう援助しているか	◎
47	様々な音、色、形、手触り、動き、味、香りなどを感じる機会を作っているか	◎
48	子どもが音楽に親しみをもち、楽しめるよう工夫しているか	◎
49	子どもが作ったり表現したものを、お互いに見せ合ったりするような機会を作っているか	◎
50	感じたことや考えたことを、自由に描いたり、作ったりできる機会をもうけているか	◎
51	みんなで一緒に表現することの喜びを、味わえるような機会を作っているか	◎
<p><意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊びの中で歌ったり踊ったりすることを楽しめるよう環境づくりに工夫した。 ・子ども達が出したものを壁に貼り、友達や保護者に見てもらうことで作る楽しさや自信につながるよう意識した。 		

項 目		評 価
(2) 保育の環境（保育士）		
52	季節に合わせて、保育室の装飾など環境に工夫しているか	○
53	保育中に音楽を流すときには、選曲や音の大きさに配慮しているか	◎
54	保育中のあなたの自身の声の大きさは、子どもにとっていつも適切な大きさであるか	◎
55	子どもの発達に即した玩具、遊具、用具を用意しているか	◎
56	子どもの興味に合わせて、好きな遊びを楽しめるよう工夫しているか	◎
57	子どもの作品を工夫して飾ったり、丁寧に保存したりするなど、大切に扱っているか	◎
<p><意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節に合わせた装飾ができなかった時があったので、もう少し工夫するべきだった。 ・子ども達が好きな遊びをじっくり楽しめるよう玩具を取り出しやすい場所に置くなどの環境づくりに配慮している。 		

項 目		評 価
(3) 子どもの人権（保育士・所長）		
58	性差への先入観による固定的な対応をしないよう配慮しているか	◎
<p><意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の個性を大切に、先入観のないよう配慮している。 		

項 目		評 価
【3】保育の計画及び評価 (1) 保育の計画		
①指導計画の作成 (保育士)		
59	指導計画作成は、必ず保育過程に基づいて作成しているか	◎
60	年・月案などの長期的な指導計画を関連させ、子どもの生活に即した週案などの指導計画を作成しているか	◎
61	指導計画を作成する際は、一人一人の子どもの発達過程や子どもの状況に配慮しているか	◎
62	週案などの指導計画は、子どもの興味や関心、意欲に合わせて活動が展開できるよう作成しているか	◎
63	指導計画は、日々の保育の連続性や季節の変化を考慮して作成しているか	◎
64	行事は、その保育上の意義を十分検討したうえで、指導計画に組み入れているか	◎
65	あなたの指導計画の反省・評価は、次の指導計画作成に反映できるものとなっているか	◎
66	保育日誌の記入事項を、指示された内容で記入されているか	◎
67	その日にあった出来事や気になる子どもの様子などを、その子どもに関わる他の職員と共有しているか	◎
68	子どもの個人記録などは、個人情報保護法や守秘義務に基づいて管理しているか	◎
＜意見＞		
<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の発達やクラスの状況に合わせた指導計画を作成している。 子どもの様子やその日の出来事など、職員とその都度共有し把握している。 		

項 目		評 価
【4】健康及び安全		
(1) 子どもの健康支援 (保育士)・(2) 環境及び衛生管理 (保育士)		
69	子どもの日々の健康状態を把握し、それを一人一人の保育に生かしているか	◎
70	身長・体重などの定期的な計測の結果を、保護者に文書で伝えていますか	◎
71	子ども一人一人の健康状態などを、職員相互で確認しているか	◎
72	子どもの投薬を要請された場合、医師の指示など留意事項の確認をしているか	◎
(2) 環境及び衛生管理 (保育士)		
73	子どもが活動しやすいように、その都度、保育室の換気や温度・湿度に配慮しているか	◎
74	適宜、手洗い場やトイレを清掃し、清潔を保つようにしているか	◎
75	玩具・遊具については、適宜、衛生面に配慮しているか	◎
(3) 安全管理 (保育士)		
76	子どもが危険な場所、危険な遊びがわかり、安全に気を付けて行動するよう指導しているか	◎
77	施設内外の安全に留意しているか	◎
78	交通安全の習慣が子どもに身に付くように指導しているか	◎
79	災害時に安全に避難できるようにするための訓練を行っているか	◎
80	不審者が侵入した場合に備えて、子どもの安全を確保するための対応策を理解しているか	◎
＜意見＞		
<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の健康状態を把握したり、清潔に保てるよう衛生面に配慮している。 交通ルールや遊ぶ時の約束事をその都度子ども達と確認している。避難訓練や不審者訓練を行ったことで災害時の行動や安全への意識が高まった。 		

項 目		評 価
(4) 食育の推進 (保育士)		
81	子どもが落ち着いて食事・おやつを楽しめるように、雰囲気作りなど工夫しているか	◎
82	様々な教材や畑の活動を通して、食べ物に興味や関心を持つことができるように働きかけているか	◎
83	食べ物が体の中でどのような働きをするのかを、わかりやすく説明しているか	◎
84	その日の昼食の食べ具合などを、必要に応じて保護者に知らせているか	◎
85	食物アレルギーの子どもに対して、除去食などの配慮をしているか	◎
86	食材や調理する人への感謝の気持ちが育つよう心がけているか	◎
<意見> ・ 野菜の栽培を通して食べ物への興味、関心を広げることができた。 ・ 「おいしいね」「これは～が入っているよ」などの話しかけをし、楽しい雰囲気ですぐに食事ができるよう意識した。		

項 目		評 価
【5】保護者に対する支援		
(1) 保育所に入所している子どもの保護者に対する支援 (保育士・所長)		
87	送迎の際に、保護者と言葉を交わすようにしているか	○
88	一人一人の保護者と、必要に応じて個別に面談を行っていますか	◎
89	あなたは保護者が子育ての悩みや心配事を安心して話せる存在になるよう、心がけているか	◎
90	保護者との情報交換の内容を、必要に応じて記録しているか	◎
91	保護者からの相談内容などを、担任一人の問題にしないで、保育所全体で受け止めるようにしているか	◎
<意見> ・ 状況によって子どもの様子を詳しく伝えられないことがあったが、保護者と様々な会話をし親しみやすい雰囲気を作り信頼関係が築けるよう心掛けている。 ・ 保護者からの相談内容は、その都度職員間で共有し対応している。		

項 目		評 価
(2) 地域や関係機関との連携 (所長)		
92	子どもの医療や保健に関する問題について、連絡・相談すべきところを知っているか	◎
93	地域の住民から受けた子育て相談の内容について、連絡・相談すべきところを知っているか	◎
94	保育所周辺の住民と良好な関係と築けるよう、日常的なあいさつなどを心がけているか	◎
95	中高生や大学生などの保育体験を受け入れるときには、その目的や意義を理解・確認しているか	◎
96	実習生を受け入れるときには、意義や方針を理解しているか	◎
<意見> ・ 必要に応じて関係機関と連携をとるようにしている。 ・ 小学校や地域との良好な関係が築けるよう努めている。 ・ 中高生の職場体験や保育実習の受け入れの際は、要望等を聞き様々な経験ができるよう工夫している。		

項 目		評 価
【6】職員の資質向上（保育士・所長）		
97	会議などでは、子どもの最善の利益を尊重して発言しているか	◎
98	自分の保育実践の内容や意図を、職員にわかりやすく説明することができるか	◎
99	自分の保育実践について、職員から意見を聞くように努めているか	◎
100	自己評価等で課題を見つけ、その課題の解決のために計画的な自己研鑽しているか	◎
101	研修に参加したり専門書を読むなどして、保育に関わる様々な知識や技能の向上に努めているか	◎
<意見> ・研修会に参加し学んだことを共有し、保育に関わる知識や技能の向上に努めている。 ・職員間で話し合い、よりよい保育ができるよう意識している。		